

MeetingPlace Web Onsite のインストールまたはアップグレード

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[オンサイトに行く前に確認すべき項目](#)

[オンサイト作業を開始する前に確認すべき項目](#)

[接続の確認](#)

[確認して下さい機能性 \(アップグレード\) を](#)

[確認して下さい機能性 \(新しいマシン\) を](#)

[Microsoft Windows サーバのハードウェア および ソフトウェア要件](#)

[バックアップ ファイル \(アップグレード\)](#)

[可聴周波サービス考慮事項](#)

[内部 Web サイトおよび DMZ Web サイト考慮事項](#)

[オンサイト作業の後に確認すべき項目](#)

[MeetingPlace 古い Web Admin UI を設定して下さい](#)

[MeetingPlace 新しい Web の Web ベース UI を設定して下さい](#)

[監視し始めて下さい](#)

[MeetingPlace Web 機能性を確認して下さい](#)

[基準標点](#)

[SQL 質問](#)

[パッチ \(該当する場合\)](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、オンサイトに行く前またはオンサイト作業を開始する前、および Cisco MeetingPlace Web のオンサイト作業を完了後に使用する確認手順について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco Unified MeetingPlace Web バージョン 5.3.104

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

オンサイトに行く前に確認すべき項目

オンサイトに行く前にこれらの検証手順を完了して下さい:

1. [Cisco Unified MeetingPlace Web 会議に関する](#)すべての適切な [Field Notice](#) および [リリースノート](#)を検討して下さい。
2. ページで 3 ~ [Cisco Unified MeetingPlace Web 会議 システムマネージャのガイド](#)の 4 説明されている Cisco Unified MeetingPlace Web システム要件を完了されます確認して下さい。
3. 適切なサーバすべて間に接続があることを確認して下さい。 [Cisco Unified MeetingPlace Web 会議 システムマネージャのガイド](#)のバージョン互換性を確認して下さい。注: どんな追加 Cisco Unified MeetingPlace ソフトウェアが MeetingPlace Web マシンでインストールされ、どのソフトウェアバージョンが使用されるか考慮して下さい。
4. 適切なライセンスキーがあることを確認して下さい:会議ポート ライセンス (可聴周波および Web だけ記録物に必要な) MeetingPlace Web パブリッシャ ライセンスMeetingPlace データ 会議 オプション ライセンス (アプリケーション 共有に必要な) MeetingNotes データ ライセンス (プレゼンテーションおよび添付ファイルに必要な) MeetingNotes 音声 オプション ライセンス (Web によって会議 録音を掲示するために必要な)
5. [Cisco Unified MeetingPlace Web 会議 システムマネージャのガイド](#)および [ソフトウェアメディア \(登録ユーザのみ \)](#) のコピーがあることを確かめて下さい。
6. アップグレードすることを計画する場合利用可能な Cisco Unified MeetingPlace Web マシンがアップグレードすることを計画する新しい MeetingPlace Web バージョンのハードウェア および ソフトウェア要件すべてに会うことを確認して下さい。
7. 真新しい Cisco Unified MeetingPlace Web をインストールすることを計画する場合新しいサーバがインストールすることを計画するバージョンのハードウェア および ソフトウェア要件すべてに会うことを確認して下さい。
8. 同期された音声および Web 記録に関しては、Cisco Unified MeetingPlace サーバソフトウェアは次のとおりである必要があります:周辺機器コンポーネント相互接続 (PCI) サーバのためのバージョン 4.3.0 または それ以降Cisco Unified MeetingPlace 8112 (M3) サーバのためのバージョン 5.02 または それ以降
9. 必要条件が [Cisco Unified MeetingPlace Web 会議 システムマネージャのガイド](#)ごとに満たされるエンドユーザを確認して下さい。
10. 完全な場合 Webサイトをテストできるように、持っています異なる場所からのユーザを確認して下さい。
11. NT Authentication をまたはそれ設定されています使用しますか。Cisco Unified MeetingPlace Web 会議にアクセスする前に組織が Windows ドメインにログインにユーザを必要としたら、Windows 認証のための Web 会議 サーバを設定して下さい。これはリリース 5.3 が確認のための Web 会議 サーバにユーザの Windows ログインID を渡すように

します。Web 会議 サーバがこの情報を受け取るとき、サーバはユーザの Cisco Unified MeetingPlace ユーザ ID とユーザの Windows ログインID を比較します。2 ID 一致が、ユーザ自動的にログインされた Cisco Unified MeetingPlace Web 会議なら。詳細については、ページを [Cisco Unified MeetingPlace Web 会議 リリース 5.3 のための管理者ガイド](#) の 4-19 参照して下さい。

オンサイト作業を開始する前に確認すべき項目

接続の確認

次の手順を実行します。

1. 適当なサーバすべて間の接続を確認して下さい: Cisco Unified MeetingPlace サーバの IP アドレスを ping して下さい。Cisco Unified MeetingPlace サーバのホスト名を ping して下さい。
2. ゲートウェイサーバがネットワーク アドレス変換 (NAT) 方式によって Cisco Unified MeetingPlace サーバネットワークと通信しないことを確認して下さい。NAT はサポートされません。

確認して下さい機能性 (アップグレード) を

次の手順を実行します。

1. 会議をスケジュールします。
2. 会議に出席して下さい。
3. 録音および変換を、該当する場合確認して下さい。
4. Web 会議に加入して下さい。
5. 資料を共有して下さい。
6. コラボレーションを有効に して下さい。
7. スライド・ ショー機能をテストして下さい。
8. 添付ファイルか記録物がある会議を過ぎた a を見つけて下さい。これらの添付ファイルがアップグレードの後でまだ目に見えることを確認して下さい。

確認して下さい機能性 (新しいマシン) を

次の手順を実行します。

1. ブラウザを開き、既定のインターネット情報サービス (IIS ことを) ページが表示するかどうか見るために <http://localhost> を入力して下さい。
2. アカウントが持っている管理者権限をログイン されることを確認して下さい。
3. IIS がこれらのステップを使用することを確認して下さい: ネットワークの別の PC から、ブラウザを開き、URL とゲートウェイ マシンに新しい Cisco Unified MeetingPlace Web 使用を結局接続することを試みて下さい。ネットワークの別の PC から、ブラウザを開き、このマシンの IP アドレスとゲートウェイ マシンに接続することを試みて下さい。
4. Cisco Unified MeetingPlace Web マシンが Secure Socket Layer (SSL) プロトコルを使用する場合、SSL 認証をインストールしませんでしたり、または HTTPS 接続を先立って使用するか、または強制するために IIS を設定しないで下さい。SSL をインストールし、設定す

る前に Cisco Unified MeetingPlace Web をインストールして下さい。

Microsoft Windows サーバのハードウェア および ソフトウェア要件

ハードウェア

- Cisco Media Convergence Server が (MCS)、または Cisco Unified MeetingPlace アプリケーションに専用されている、HP または IBM からの正確な等量が必要となります。必要とする MCS の数は Cisco Unified MeetingPlace システムで必要とされる音声および Web 会議 ユーザライセンス (ポート) の数によって異なります。注: Cisco MCS についての情報に関しては、[Cisco 7800 シリーズ メディア コンバージェンス サーバ](#)を参照して下さい。
[Cisco.com](#) ユーザ名 および パスワードがこのページにアクセスするために必要となります。Cisco MCS 7835H-3.0-IPC1 か 7835I-3.0-IPC1:に関しては 480 まで音声 ユーザライセンス (50 Web 会議 ユーザライセンスまでのサポート) があるシステムCisco MCS 7845H-3.0-IPC1:に関しては 1152 音声 ユーザライセンス (サーバごとの 200 Web 会議 ユーザライセンスまでのサポート) までのシステム注: 以上 50 Web 会議 ユーザライセンスがある場合、Web 会議に専用されている MCS 7845 に Cisco Unified MeetingPlace アプリケーションを (たとえば Cisco MeetingPlace for Outlook が Cisco Unified MeetingPlace SMTP/E メール ゲートウェイ)、移動して下さい。各々の追加 200 Web 会議 ユーザライセンスのための専用 MCS 7845 を追加して下さい。

オペレーティング システム

- Cisco MCS OS 2000.2.6 (SR 4) か以降のリリース

ソフトウェア

- Microsoft Internet Information Server (IIS) 5.0Microsoft IIS 5.0 は Cisco MCS でオペレーティング システムがインストールされている場合インストールされ、設定されます。
- Sun Javaランタイム環境 (JRE) 1.4.2_05Sun JRE の異なるバージョンが検出する場合 JRE 1.4.2_05 はリリース 5.3 と含まれ、自動的にインストールします。
- 利用可能な以上 2.5 GB 空き容量の NT File System (NTFS)。
- 基礎レベル上の記録の 1 期待された時間あたりの追加ディスクスペースの 700 MB。詳細については、[Cisco Unified MeetingPlace Web 会議 システムマネージャのガイド](#)の章の第 4 「レコード・サイズ」セクションを参照して下さい。
- Microsoft PowerPoint フォントとすべての団体フォントおよび Microsoft 標準フォントは、インストールされています。
- Microsoft PowerPoint 2003 (プレゼンテーション モード スライド変換のために) 注: リリース 5.3 は高優先順位としてスライド変換を、たとえば、ラボ システム置かないシステムのための内部転換ツールが含まれています。内部転換ツールは Web 会議 サーバのビデオドライバ設定に従ってグラフィックを表示する。

可聴周波サーバハードウェア

- Cisco Unified MeetingPlace 8112 サーバか Cisco Unified MeetingPlace 8106 サーバ

ソフトウェア

- Cisco Unified MeetingPlace 可聴周波サーバ リリース 5.3

その他

- アクセス ポート (音声)

- Option 鍵 Cisco Unified MeetingPlace WebPublisher
- Option 鍵 Cisco Unified MeetingPlace データ 会議 (アプリケーション共有および提示のために必要とされて)
- Option 鍵 Cisco MeetingNotes データ (提示および接続機構のために必要とされて)
- Option 鍵 Cisco MeetingNotes 音声 (会議 録音のために必要とされて)
- Option 鍵 Cisco Unified MeetingPlace ビデオ統合 (ビデオ会議のために必要とされて)
- Microsoft PowerPoint 2003 (プレゼンテーション モード スライド変換のために)

SQL サーバ必要条件および考慮事項:

- Microsoft 構造化照会言語 (SQL) サーバ 2000 (SP 3a) このサーバはリリース 5.3 と Cisco MCS で SQL サーバをローカルでインストールし、インストーラが SQL サーバの以前のリリースを検出する場合含まれ、自動的にインストールします。インストーラが以前のリリースを検出する場合、SP 3a にアップグレードします。
- Microsoft SQL Server 2000 デスクトップ エンジン (MSDE) (SP 3a) このエンジンはリリース 5.3 とレガシー シスコ以外の MCS Windows サーバで SQL サーバをインストールし、インストーラが SQL サーバの完全なバージョンを検出する場合含まれ、自動的にインストールします。注: MSDE は可能性としてはリリース 5.3 のパフォーマンスを妨げる可能性がある 8 同時接続の性能限界を課します。MSDE が Cisco Unified MeetingPlace Web 会議の将来のリリースでサポートされないことは可能性のあるです。Cisco はすべての Cisco Unified MeetingPlace システムと、特に稼動システムが、十分に認可された SQL サーバの使用を考慮することを強く推奨します。注: リモート SQL サーバ オプションによってリリース 5.3 を展開する場合、それはリリース 5.3 のインストール前にリモートマシンの SQL サーバを (完全な SQL サーバか MSDE) プレインストールする責任です。注: リリース 5.3 は大文字/小文字の区別がある SQL サーバをサポートしません。

顧客が提供するアカウントを使用すれば:

- アカウントは SQL アカウントである必要があります。アカウントは[データベースアクセス 認証のための MeetingPlace Web SQL アカウント必要条件](#)で述べられるように必要条件を満たす必要があります。
- System Administrator (SA) アカウントを使用する場合、Password フィールドがブランクではないことを確かめて下さい。

バックアップ ファイル (アップグレード)

次の手順を実行します。

1. これらのフォルダをバックアップして下さい (<drive> \緯度\ MPWeb にある) : \html\テンプレート\イメージ (適当な場合) \infocenter\スクリプト
2. これらのファイルをバックアップして下さい (<drive> \緯度\共有コンポーネント\ MeetingPlace 通知 ゲートウェイに置かれて) : NotifyCancel.tpl NotifyReSchedule.tpl NotifySchedule.tpl
3. Cisco MeetingPlace for Outlook をインストールしてもらう場合これらのファイルをバックアップして下さい (<drive> \緯度\ MPWeb \ mpoutlook にある) : mpmmessage.rtf mpMsgRsvl.rtf Setup.exe upgrade.exe
4. Cisco Unified MeetingPlace Web の SQL データベースをバックアップして下さい。追加 information に関しては、[MeetingPlace Web MPWEB SQL データベース バックアップ](#)を参照して下さい。

可聴周波サービス考慮事項

1. 可聴周波サービスは提供されますか。
2. 可聴周波サービスは Cisco Unified MeetingPlace Web と同じマシンでインストールされますか。
3. ほしければ Windows Media は Microsoft Windows 2000サーバ オペレーティング システム コンポーネント「Windows Media Services」をフォーマットしましたり、インストールします。詳細については、[Cisco Unified MeetingPlace Web 会議 システムマネージャのガイド](#)を参照して下さい。注: Microsoft Windows メディア エンコーダをインストールする必要はありません; Cisco Unified MeetingPlace Web は正しい Windows Media エンコーダによって組み込まれ、インストールプロセスの間に MeetingPlace Web と共にインストールされています。
4. Real Audio 形式がほしいと思う場合、実際のネットワーク Real Audio サーバおよび Real Audio エンコーダ (2 つの別々の製品) を購入し、インストールして下さい。
5. 動画エキスパート グループ オーディオ レイヤ3 (MP3) 形式がほしいと思う場合、[MP3 エンコーダ ダウンロード](#)から MP3 エンコーダを購入し、インストールして下さい。

内部 Webサイトおよび DMZ Webサイト考慮事項

決定するのに助ける情報に関しては内部 Webサイトまたは非武装地帯 (DMZ) Webサイトを使用するためにかどうか [DMZ オンサイト インストールに関する文書との MeetingPlace Web](#) を参照して下さい。

オンサイト作業の後で確認すべき項目

MeetingPlace 古い Web Admin UI を設定して下さい

次の手順を実行します。

1. Start > Programs > MeetingPlace アプリケーションから、MeetingPlace Web管理者を開いて下さい。
2. 上メニューから、そして複製サービス『Configure』を選択して下さい:望ましいページ パラメータを設定して下さい。1日にプロファイル更新間隔を設定して下さい。これらの形式の提示音声ファイルでは可聴周波サービスに適用するボックスを区分して下さい、チェックして下さい。[OK] をクリックします。

MeetingPlace 新しい Web の Webベース UI を設定して下さい

次の手順を実行します。

1. システムマネージャ プロファイルを使用して Cisco Unified MeetingPlace Web へのログイン。
2. Admin リンクをクリックして下さい (ページの右上にある)。
3. Webサーバ Properties をリンクし、設定しましたこれらのパラメータの適切な値をクリックして下さい:必須 SSL[hostname]
4. 変更を保存するために『SUBMIT』 をクリックして下さい。

監視し始めて下さい

次の手順を実行します。

1. システムトレイから、**MeetingPlace** アイコンを右クリックし、**Eventlog** を選択して下さい。
Cisco Unified MeetingPlace が Web エラーイベントを生成しないことを確かめるために eventlog を監視して下さい。
2. **サービス コントロール** コントロール・ パネルを開き、すべての Cisco Unified MeetingPlace Web サービスが作動中であることを確認して下さい。
3. Cisco Unified MeetingPlace サーバに Telnet で接続し、**gwstatus** コマンドを発行して下さい。
次のことを確認してください。すべての MeetingPlace Web サービスはアップし、アクティブになっています。すべての MeetingPlace Web サービスは正しいバージョンです。
Cisco Unified MeetingPlace Web がアップグレードされた場合、可聴周波サービスが同様にアップグレードされたことを確かめて下さい。可聴周波サービスがアップグレードされなかった場合、[Field Notice](#) を参照して下さい: [FA00325 -新しいバージョンへの MeetingPlace Web をアップグレードした後で、GWSTATUS は可聴周波サービスが新しいバージョンにアップグレードされなかったことを示します。](#)

MeetingPlace Web 機能性を確認して下さい

次の手順を実行します。

1. Web ホームページにアクセスできます確認して下さい。内部ゲートウェイ マシンから、ブラウザを開き、入力して下さい:<http://localhosthttp://xyz.company.com> (完全修飾ドメインネーム) <http://ipaddress> (ゲートウェイ マシンの IP) 別の内部 PC から、ブラウザを開き、入力して下さい:<http://xyz.company.com> (完全修飾ドメインネーム)
2. Cisco Unified MeetingPlace Web からテスト会議をスケジュールして下さい。これらのオプションを使用して下さい:記録 = はいPowerPoint ファイルを追加して下さい皆に会議を = 表示する
3. 会議に加わり、確かめて下さい:会議室を起動できますプレゼンテーションを共有できます会議を記録できますコラボレーションを有効にし、他のユーザに制御を引き継いでもらうことができますスライド・ ショーを作成できます注釈を作成できます
4. 会議室 コンソールメニューから、**会合**を選択し、次に**終わり会合**を選択して下さい。
5. Eventlog ウィンドウで、添付ファイルに会うことがダウンロードされ、変換が始まることを確かめて下さい。
6. 変換 アクティビティが終了した、会議を検討し、確認する後録音および同期された Web 記録は (該当する場合) 変換されました。
7. テスト会議を見つけ、再生作業を確かめるために添付ファイル/記録物 アイコンをクリックして下さい。
8. DMZ セットアップがある場合、[DMZ オンサイト インストールに関する文書との MeetingPlace Web](#) を参照して下さい。

基準標点

次の手順を実行します。

1. Admin UI の基準標点を–基準標点 Properties リンク設定して下さい。
2. 基準標点機能性をテストして下さい。

SQL 質問

1. SQL メモリはキャップされますか。詳細については、[フィールド警告を参照して下さい](#)：
[FA00211 -それよりそれ以上のメモリを使用するおよびそれをきちんと放棄しない SQL サーバ sqlservr.exe プロセスは必要とします。](#)
2. SA アカウントにパスワードがありますか。詳細については、[osql コマンドで MeetingPlace Web sa アカウントパスワード変更を参照して下さい](#)。

パッチ (該当する場合)

次の手順を実行します。

1. 最新のパッチを必要ならば加えて下さい
2. 完全な MeetingPlace Web 機能を実行して下さい。

関連情報

- [Cisco Unified MeetingPlace Web 会議 システムマネージャのガイド](#)
- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声と IP 通信製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)